障害福祉サービス事業所
みどり園

特定非営利活動法人
ひかり福祉会

みどり園正門

1　施設の概要

定員	生活介護　定員１３人 就労継続支援Ｂ型　定員１３人 生活介護、就労 B 型とも新館増築に伴い令和８年４月以降順次定員を増員します。
所在地	さいたま市見沼区大字山 22 番地 1 https://hikarihukushi.sakura.ne.jp HP アクセス
アクセス	JR 大宮駅東口⑦番乗場.国際興業バス「浦和美園」「浦和学院」方面行き（23 分）「山村」下車 1 分 JR 大宮駅・北浦和駅より車で 15 分

連絡先	TEL：048-884-9772 FAX：048-884-9773 e-mail:dg328554@zb4.so-net.ne.jp
開設日	平成 26 年 4 月 1 日
開所日時	月~金曜日(祝日は営業日)
平均年齢	２９歳(最年長 75 歳、最年少 19 歳)
賃金・工賃	生活介護:1000 円/月 就労 B 型：11000 円/月
食事提供	あり(宅配弁当:一食 440 円)
送迎範囲	さいたま市(見沼区、緑区、大宮区、浦和区、南区、他応相談)
入浴	可
車いす	可
医療的ケア	なし
その他の整備 (該当に○)	エレベーター　有・(無) ユニバーサルシート 大人用ベッド)　(有)・無

みどり園全景

正面:本館

右上：新館

手前：送迎車駐車場

2　施設の運営方針・理念

ひかり福祉会の理念

❶私たちは、障害者の基本的人権を護ります。
❷私たちは、障害者が地域において自立した生活ができるよう支援します。
❸私たちは、障害者には楽しく過ごせるところ、ご家族には安心して委ねられるところであるよう努めます。
❹私たちは、従事者にとっては働きやすい職場であるよう努めます。
❺私たちは、地域の人達と密接な連携を図り、福祉にやさしい地域社会を目指します。
❻私たちは、障害者の利益になる社会福祉・社会保障制度を追求します。

支援活動の目標と指針

支援活動の目標

将来、親御様による支援が不可能になったときに、利用者が日常生活や社会生活を自分一人で対応できるようになっていることを将来に向けた長期目標としています。

長期目標を踏まえて、みどり園は、日頃の支援活動や余暇(休憩)の過ごし方において利用者さんが「自分一人でできることの数を一つずつ増やしていくこと（これを私たちは「自立」と考えています)」を現在の支援活動の目標としています。

支援活動の指針

現在の支援活動の指針は；

1.利用者の障害特性を考慮した個別支援を基本とします(個別支援)。
2.利用者個人の意思を尊重し意思決定を支援します(意思尊重・意思決定支援)。
3.利用者に対する支援の選択肢を多く用意して「生活の質」を高めます(QOL 向上支援)。
4.使用者の権利擁護に努め虐待は絶対に行ないません(権利擁護・虐待防止支援)。
5.ストレスのかからない良好な環境を用意します(良好な環境の提供)。

支援活動の技法

障害者への支援には、さまざまな技法が開発されています。みどり園では、言葉によらない多様なコミュニケーションの方法によって支援の内容と順序を利用者にわかりやすく伝えて利用者の不安や混乱をなくす支援をします（**ティーチプログラムの「構造化」**)。

問題行動のある利用者さんには問題行動が生じた場面やその機能を明らかにして、問題行動を合理的な行動に導く支援を行っています(**応用行動分析**)。この支援には手ごたえを感じています。

また近年、自閉症等の発達障害の原因について、両親から受け継いだ遺伝子自体は正常でも、胎児・幼児期の不適切な環境（妊婦の低栄養、低体重児出産、農薬・除草剤・環境ホルモンの影響、母子間の愛着障害等）により、遺伝子発現のオンとオフの制御システム（エピジェネティックス）に不具合をもたらし、それが脳のシナプス（脳神経細胞ニューロン間の情報伝達の役割を果たす）の異常を引き起こすことによるとされている。最近の医学生物学的知見ではエピジェネティクスには可逆性があるとされ、ストレス等のかからない良好な環境のもとで遺伝子発現の異常（障害）も理論的には改善が可能とされている。みどり園もこの**エピジェネティクスの知見**を支援活動に取り入れ、穏やかでストレスのかからない「良好な環境」を支援の基本に取り入れています。

3　事業所の紹介

生活介護

生活介護の支援活動を行っている部屋

生活介護の現在の定員は 13 人ですが、令和 8 年 4 月より、定員を順次増員していきます(最大 25 人)。

主な支援活動

園内活動と園外活動を組み合わせて行っています。園内活動は、缶潰し、紙すきの軽作業や遊戯を、園外活動は近隣への歩行訓練(散歩)やコミュニティセンターでの運動、販売活動等(ピアショップでの販売や「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」への参加)をしています。

創作活動

就労 B 型と合同で、月二回、外部の先生をお招きして臨床美術、音楽及び書道を楽しんでいます。利用者さんの右脳の活性化と「生活の質（QOL)」の向上を企図しています。創作活動はみどり園の特徴の一つと思います。

余暇活動

余暇（作業の合間の休憩や昼食後の昼休み）を利用者さんがどう過ごされるかは非常に重要と思います。CD で音楽を聴く人、パズルをする人、ボール遊びをする人、何もしないでじっとしている人等々、多様です。利用者さんがご自分で過ごし方を選択できることが大事だと思います。自由な選択肢が多いほど QOL は高まると思われます。そのための支援グッズ等の充実を常に前向きに考えています。

就労継続支援 B 型

就労 B 型の作業室でしたが、B 型が新館に移動ことにより、令和 8 年 4 月より生活介護で使用します。生活介護は広くなります

令和 8 年 4 月より定員は 3 名増え 13 名になります。B 型の活動も 4 月より新館で行います。。

生産活動

就労 B 型の主要な生産活動は、レギュラー珈琲の製造・販売です。購入した珈琲生豆を選別(NG 豆の除去)して焙煎し、これを計量して袋詰めにしたりドリックパックに詰めたりしてピアショップ等で販売しています。来園して購入されるリピーターのお客様も増えています。その他通販のラベル張り、ステンシルの作成をしています。今後は農園で畑作業も考えています。

創作活動

生活介護の利用者と合同で臨床美術、音楽、書道を楽しんでいます。理性(左脳)よりも感性(右脳)に訴える音楽や美術等への利用者の反応は健常者と基本的に違いはないのではないかと思うことがあります。

余暇活動

余暇(休憩時間)の過ごし方は QOL の向上にとってとても大切なことと考えています。就労 B 型の利用者さんからは余暇を過ごすための CD、図鑑、楽器等の指定や注文を受けることが少なくありません。みどり園は、これには積極的に応えています。

4　事業の紹介写真

生活介護

多目的トイレは人気があります

アルミ缶洗い

アルミ缶潰し

楽しい音楽(就労 B と共同)

緑の多い散歩道

コミ・セン体育館で運動

就労継続支援 B 型

珈琲生豆を購入

NG 豆の選別

焙煎機で焙煎

製品（計量・袋詰め）

ピアショップで販売

美術（右脳を使って自由に）

余暇（数人でボール回しをする人）

余暇（ピアノ鍵盤で歌う人）

5　施設の年間の行事

行事：**遠足・体験見学**
時期：6 月
場所：大宮鉄道博物館
内容：コロナ禍で自粛していましたが、令和 5 年になって鉄道博物館見学がようやく実現しました。利用者さんには東海道新幹線の 0 系型車輌や現役を終えたばかりのオレンジ色の中央線車輌が人気でした。

行事：**七夕の会**
時期：７月上旬
場所：みどり園
内容：昼食と飲み物のほかゲームや模擬店も用意しました。一番盛りあがったのは写真のカラオケ大会でした。意外なパフォーマンスを見せてくれる利用者さんいて感動しました。

行事：**第 7 回みどり園祭り**
時期：11 月 14 日
場所:みどり園
内容：コロナ禍を挟んで 4 年ぶりのみどり園祭りはご近所の皆さん方をお迎えし盛況でした。美術、書道の展示、模擬店、ゲームなど多様な催しものの中で、一番の盛り上がりは写真にみられる「宝くじ抽選会」でした。

行事：**クリスマス会**
時期：12 月 22 日
場所:みどり園
内容：「イオン黄色いレシ―トキャンペン」から幸せのタンタクロースさんとトナカイさんの来園サプライズがありました。思わぬ来客からプレゼントをいただき利用者さんはみんな大喜びでした。「サンタさん、トナカイさん、ありがとうございました」。

行事：**二十歳の集い**
時期：1 月 16 日
場所：みどり園
内容：今回の二十歳の集いの該当者は男性の利用者さん 1 名でした。毎年「二十歳の集い」にご本人と一緒にご参加下さる親御様の嬉しそうなお姿を拝見して私たちは「勇気」をいただいています。今年は、お母さんと一緒に本人もキチッと挨拶出来て感動しました。写真はお招きした音楽グル-プのみなさんの素敵な演奏場面です。

6　施設の自慢・特色

1　みどり園コーヒー

レギュラー珈琲は、インスタント珈琲と違って水やお湯に溶けません。お飲みいただくには少し手間がかかります。しかしそれを差し引いてもレギュラー珈琲の持つ「香り」「コク」「苦み」はインスタント珈琲の比ではありません。コロナ禍でピアショップでの販売が落ちこみましたが、令和５年には回復に向かっております。リピーターの方もおかげさまで増えています。これからも「珈琲といえばみどり園」といわれるように職員、利用者さん一緒になってお客様に喜んでいただけるようなレギュラー珈琲づくりに励んでまいります。

2　ドア・ツー・ドアの送迎

みどり園は、地理的にはさいたま市の中心部にあり県道 214 号線(大宮駅・浦和美園方面)に面していて、駐車場用のスペースにも余裕があるため利用者さんの送迎は原則として送迎車によるドア・ツー・ドアの方法を採っております。利用者さんの出勤率は良好です。ハイエース・キャラバン計５台とステップワゴン、エスティマ、シエンタを用意しています(写真参照)。西区、北区、桜区を除くさいたま市全域に対応できます(応相談)。

3　みどり園文庫と職員の自己啓発

職員の「学び・学び直し」はどちらの福祉施設も努力されていると思われます。みどり園では、職員の支援が「我流」にならないようにと考えて、事業所内の OJT や Off-JT、事業所外の Off-JT（オンライン、オンデマンドを含め）の計画的・継続的研修のほか職員本人による自己啓発を進めています。特に自己啓発のためには左の写真のように「みどり園文庫」（３年前にスタートし現在障害福祉・医療関係の著書・ＤＶＤなど４00 冊余りあります。２年後には６00 冊にする計画を立てています)を設けました。みどり園関係者はだれでも貸出票に記載するだけで自由に読むことができます。

4　「障害のある子の将来を考える集い」(集い)

ひかり福祉会では、年１回、親御様と一緒に「障害のある子の将来を考える集い」を持っています。「集い」のテーマの２つあります。１つは「障害のある子の親なきあとを考える」、いま１つは「発達障害とエピジェネティクス」です。前者では、「障害のある子が親なきあと、誰と、どこで住むか、お金はどうする」かがと問題となります。後者、エピジェネティクスとは、両親から受け継いだ遺伝子発現のオンとオフを制御するシステムのことです。発達障害の多くはエピジェネティクスの異常に起因し、その異常には可逆性があり理論的には「良好な環境」を用意することによって障害の改善は可能とされています。私たちはこの２つテーマについて外部の専門家をお招きして話し合っています。（写真は第１回「集い」で講義中の元聖徳大学大学院教授久保田健夫先生）